



RAKUWA
lecture of health

第163回 らくわ健康教室


2013年9月28日



骨・軟部腫瘍

～ 手足のしこりに気付いたら ～

洛和会音羽病院 整形外科 部長 なかまた たけ ほん 仲俣 岳晴

 発展、ともに前へ…
洛和会ヘルスケアシステム®

洛和会丸太町病院 洛和会音羽病院
洛和会音羽記念病院 洛和会みささぎ病院

骨・軟部腫瘍 ～手足のしこりに気付いたら～

はじめに

● 骨・軟部組織とは

体のなかで、皮膚でも内臓でもない部分と考えればわかりやすいです。

● 腫瘍とは

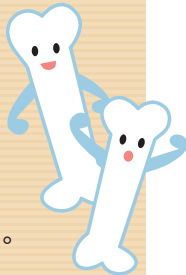
細胞が余分に増えたもので、良性も悪性も含まれます。

● 骨腫瘍とは

骨組織にできた腫瘍です。

● 軟部腫瘍とは

軟部組織にできた腫瘍です。



骨・軟部腫瘍の診療は、整形外科が行います。

肉腫とは？

骨・軟部腫瘍のうち、悪性のものをいいます。

内臓に発生した悪性腫瘍を、一般に漢字で「癌」と表記します。これに対し、白血病など血液のがんなども含めた悪性腫瘍全体（癌+血液腫瘍+肉腫）を、ひらがなで「がん」と表記します。

日本の主ながんと、悪性骨・軟部腫瘍の発生数は、以下のとおりです。

日本のがん発生数

全	800,014
大腸	132,392
胃	122,910
肺	97,343
乳腺	65,085
前立腺	51,534

(2008年、地域がん登録全国推計)

骨	509
軟部	1,252

(2007年、日本整形外科学会 全国骨・軟部腫瘍登録)

主な悪性骨腫瘍の発生数

骨肉腫	191
軟骨肉腫	89
ユーイング肉腫	31
脊索腫	27
悪性線維性組織球腫(MFH)	26
骨髄腫	65
悪性リンパ腫	55

(日本整形外科学会骨腫瘍登録2009)

主な悪性軟部腫瘍の発生数

脂肪肉腫	416
悪性線維性組織球腫(MFH)	252
平滑筋肉腫	90
滑膜肉腫	47
悪性末梢神経鞘腫瘍	46
粘膜線維肉腫	62
横紋筋肉腫	27
ユーイング肉腫ファミリー腫瘍	24
線維肉腫	22

(日本整形外科学会軟部腫瘍登録2009)

体表から触れる「しこり」

<骨にできるしこり>

● 骨軟骨腫（外骨腫）

骨が余分に出っ張ってきて、関節のまわりでできると、関節が曲げにくいなどの不便が生じる。

● オスグッド・シュラッター病

成長期の子どもの膝に多い骨軟骨炎。

<軟部にできるしこり>

● ガングリオン

手首によくできる。関節を使い過ぎることで、関節液が、関節の壁の弱いところを押し上げる。

● 滑液包炎

肘や膝のように皮膚のすぐ下に骨のあるところが、プヨプヨに膨れる。

● 脂肪腫

背中や肩などに、ポコンとしたフワフワと柔らかい盛り上がりができる。

● 表皮嚢腫（アテローム）

顔など、汗をかくところにできやすい。毛穴から出る皮脂が中にたまってしまった状態。

◆◆◆これらはほとんどが良性です◆◆◆



悪性「しこり」

しかし、まれに悪性のことがある



悪性腫瘍の特徴

- 周囲の組織に浸潤しながら際限なく増殖する。
- 肺・脳・肝臓などに転移する。
※痛みがあるとは限らない。

悪性腫瘍は、小さなしこりが非常に短期間で大きくなるなどの特徴があります。神経を圧迫せず、痛みがない場合もあるので、痛くないからと放置するのは危険です。

腫瘍を見つけたらどうすべきか？

初期診断の結果により、以下のような対応が良いと思われるかもしれません。

- **初期診断で良性の場合** → 手術で切除する。
- **初期診断で不明の場合** → 2～3カ月経過観察。
- **初期診断で悪性の場合** → 専門施設を紹介してもらう。

でも、本当にこれでいいのでしょうか。例えば、以下のような例があります。

切除したら病理診断が肉腫だった



良性と早合点して切除しても、実際は周囲に浸潤していたということもあります。この場合、皮膚と筋肉を広範に切除する追加手術が必要になります。

望ましい対応は

- **初期診断で良性の場合** → 2～3カ月、経過観察する。状態が変わらなければ、主治医と相談して、そのまま経過観察を続けるか、手術で切除するかを決める。
- **初期診断で不明の場合** → 専門施設を紹介してもらう。
- **初期診断で悪性の場合** → 専門施設を紹介してもらう。

骨・軟部腫瘍の専門施設

専門施設は、全国に89施設あります。日本整形外科学会のホームページの「骨・軟部腫瘍診断治療相談コーナー」に掲載されています。

京都府では、京都大学医学部附属病院と、京都府立医科大学附属病院が該当します。洛和会音羽病院は、連携している京都大学医学部附属病院から紹介を受けた患者さまの治療を行うことが多いです。



患者さま側の心得

- 「症状」を正確に伝える。
いつ頃気付いたか？
大きさや痛みなどの変化は？
- 「様子をみましょう」の意味を理解する。
時間の経過につれて分かってくることはたくさんある。
決して「ほったらかし」ではない。
- 専門施設へ紹介されたら早めに受診する。
診療情報提供書、画像データは必須。
病理組織標本もあればまとめて持参を。

骨・軟部腫瘍の診断

骨腫瘍の多くは、X線写真で良悪性の判断が可能です。

軟部腫瘍の一部はMRIで診断が可能です。

悪性腫瘍の疑いがあれば生検を行います。生検（腫瘍の一部を切り取り、顕微鏡などで詳しく調べる検査）は、専門施設で行うことが望ましいです。

骨・軟部悪性腫瘍の治療

治療には、手術、放射線治療、化学療法の3種類があります。このうち、手術と放射線治療は局所に対する治療、化学療法は転移を含めた全身に対する治療です。

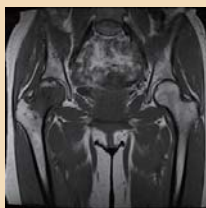
がんの骨転移

がんの骨転移

- 実は原発性骨腫瘍よりはるかに多い。
- 原発巣の頻度は
 - 男性** ①肺がん ②腎がん ③前立腺がん
 - 女性** ①乳がん ②肺がん ③甲状腺がん
- 化学療法の進歩により治療開始後のQOL(生活の質)が、重視されるようになってきた。

骨折治療の重要性

全身にがんが広がっても、化学療法で元気に過ごしている患者さまは多くおられます。その際、骨折治療や予防はADL(日常生活動作)向上のためにも有効です。



大腿骨近位部への骨転移(乳がん)



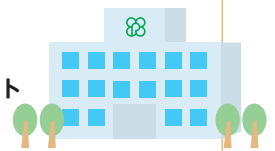
腫瘍用人工骨頭置換術により歩行能力回復

洛和会音羽病院の取り組み

骨・軟部悪性腫瘍などのがんに対し、当院では患者さまの状態に応じて、さまざまな対応ができる体制を整えています。がんが根治できない場合でも、生活の質を保てるよう、できる限りの対応を行っています。

洛和会音羽病院の取り組み

- **迅速な対応**
外来：音羽前田クリニック
検査：MRI、FDG-PET など
- **大学病院との連携**
- **山科地区開業医との連携**
- **がん診療のトータルサポート**
放射線治療、緩和ケア



質疑応答から

Q 骨腫瘍で「良性」の診断を受け、「様子をみましょう」と言われて、もう10年になります。良性が悪性になる危険性はないのでしょうか？

A 10年経過をみて変化がないのであれば、悪性化する可能性は非常に低いと思います。

Q 良性の場合でも、切除した方がいいのですか？

A たとえば手や指のように、良性腫瘍があると日常生活を送るうえで不便な場合は切除すれば良いですし、支障がないのなら経過観察を続ける選択肢もあるでしょう。患者さまの年齢にもよるでしょうから、主治医とよく相談して決めればよいと思います。

